



お客さまとともに「ふるさと多摩」の未来へ



TAMASHIN REPORT 2014.9

たましんレポート

2014.9月期 仮決算のご報告

[平成26年4月1日～9月30日]

多摩信用金庫

事業や暮らし、地域の課題に対して、積極的に取り組んでいます。



理事長 **ハ本 敏郎**

平素より、たましんをご愛顧いただき誠にありがとうございます。

平成26年度上期の活動をご報告する「たましんレポート2014 9月期」を作成いたしました。本誌をご覧ください、たましんへのご理解を深めていただければ幸いです。

国内の経済については、政府主導の経済政策であるアベノミクス「三本の矢」の推進により景気は緩やかな回復基調にある中で、平成26年4月に実施された消費増税の影響による消費の反動減があり、その後は持ち直しの動きも見られましたが、未だに足踏み状態が続いております。有効求人倍率はリーマンショック前の水準まで上昇し雇用情勢が改善するなど、景気に明るい兆しは見えている一方で、中小企業においては円安を起因とした資材やエネルギーコストの高騰により経営が圧迫されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、景気回復の裾野を広げ地域経済の活性化のために様々なお客さまの課題やご要望にお応えしていくことが私たちの使命であると考え、金融サービスの提供にとどまらず幅広い課題に対して、スピード感を持って解決できるよう取り組んでおります。

平成26年度上期については、西東京市との「産業振興に向けた支援に関する包括協定」の締結をはじめ、武蔵野市と「創業支援事業に関する連携協定」を締結するなど、行政と連携し産業活性化を図っていく取り組みを進めてまいりました。地域への取り組みとしては、将来にわたって多摩地域に貢献できるネットワークの構築に取り組んでいます。

企業・事業者の皆さまには、「課題解決プラットフォームTAMA」を通じて、大学や行政などとも連携し、創業から成長・再生・承継といったライフサイクルに応じた支援を引き続き行いました。また、創業補助金や新ものづくり補助金など、お客さまの事業を前進させるために、国の施策を活用しきめ細かい対応を行いました。

個人のお客さまには、引き続き各種相談体制の充実や子育てに重点を置き取り組んでまいりました。「夏休み親子自然体験ひのはら'14」では、内容をさらに充実させるとともに、入園・

入学を控えるお子さまをお持ちのご家庭に向けて「見て、聞いて、知って得する 入園・入学夏フェスタ」を開催するなど、子育て世代の暮らしに関する悩みや課題にお応えする取り組みを行いました。

今後とも将来の多摩地域の発展に貢献し、地域のお客さまのご期待に沿えるよう取り組んでまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



経営理念

たましんは、お客さまの幸せを創造する企業
たましんの仕事は、お客さまの幸せづくり

基本方針

わが信用金庫は社会的公器として協同組織による地域金融機関たる精神に徹し

1. 役職員一致の体制を整え
2. 信義誠実、明朗堅実にして信頼に富む職場を築き
3. 業容の増大、質の向上を図って金融の疎通につとめて地元の繁栄とわが国経済の振興に寄与することを念願する。

多摩信用金庫企業倫理

1. 社会的公器の自覚と信頼の確立
たましんの基本方針にのっとり、その公共的役割を自覚し、経営の自己責任に基づく健全経営に徹することにより、会員、お客さま、地域社会の信頼を確立していきます。
2. お客さま第一主義の実践と地域社会への貢献
たましんの経営理念を追求し、あらゆる業務を通じて、お客さまへ質の高い最良のサービスを提供することを常に目指すとともに、地域社会の発展に貢献していきます。
3. 法令やルールの厳格な遵守
たましんは、法令やルールおよびその精神を遵守し、社会的規範に背くことのないよう、常に誠実かつ公正な企業運営を行っていきます。
4. 反社会的勢力の排除
たましんは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力を、断固たる姿勢で排除していきます。
5. 経営情報の公開と地域社会との調和
たましんは、経営情報の積極的かつ公正な開示をはじめとして、広く地域社会とのコミュニケーションを深め、調和を図っていきます。

たましんプロフィール

平成26年9月末現在

創 立	昭和8年12月26日 有限責任立川信用組合として設立 平成18年1月10日 合併により多摩信用金庫
純 資 産	1,086億円
出 資 金	233億円
本 店	東京都立川市曙町2丁目8番28号
店 舗 数	本支店……76 / 出張所……4 店外キャッシュサービスコーナー……59
役職員数	2,291名(パート含む)
職 員 数	2,033名(男性1,198名、女性835名)

【目次】

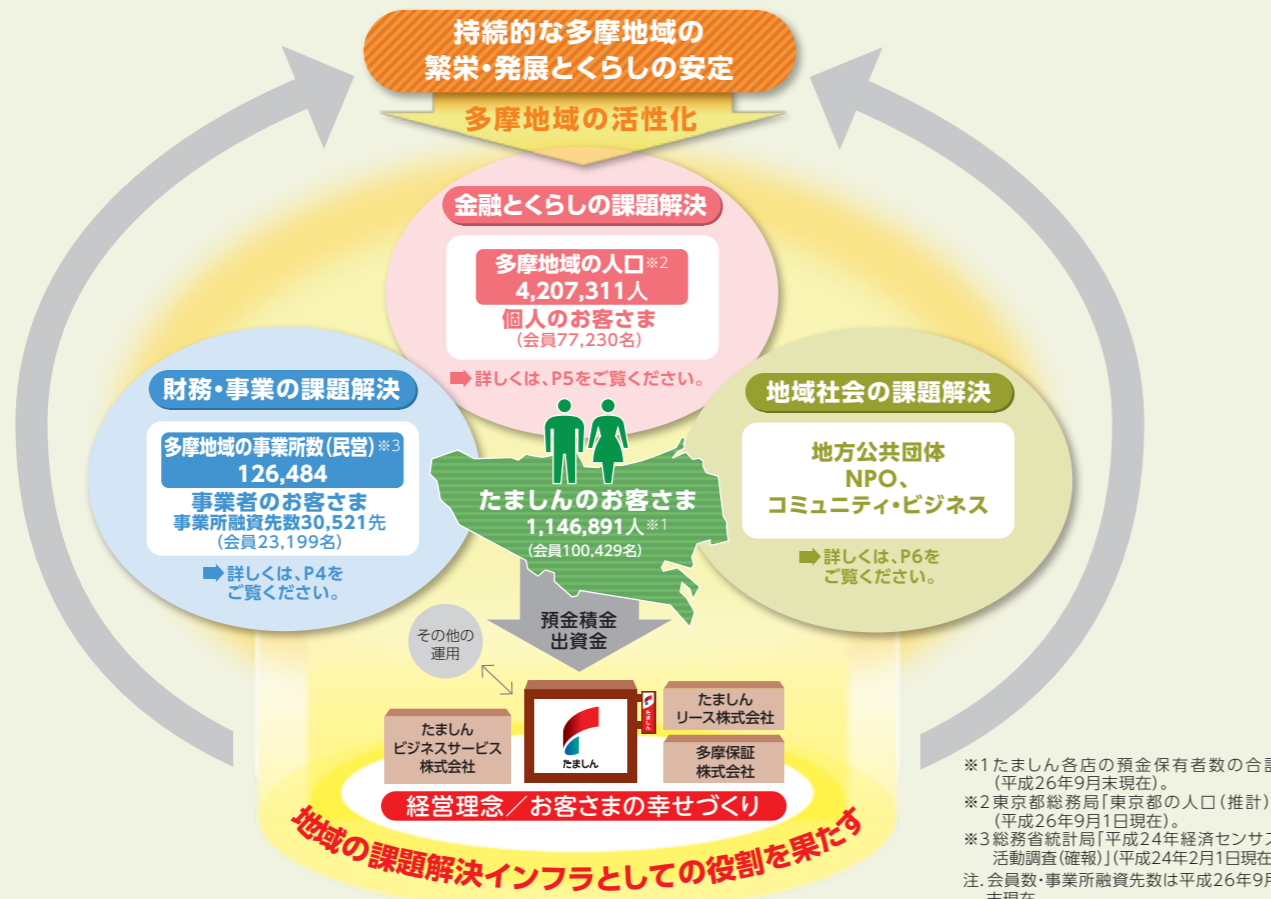
- 理事長からのごあいさつ 1
- 地域金融機関としての役割 3
- たましんの取り組み
 - ・ 企業・事業者への支援 4
 - ・ 個人の皆さまへのお手伝い 5
 - ・ 地域社会への取り組み 6
- 業績ハイライト
 - ・ 預金・年金振込・預かり資産 7
 - ・ 事業所融資先数・貸出金・金融円滑化 8
 - ・ 損益の状況 9
 - ・ 自己資本比率 10
 - ・ 不良債権 11
 - ・ 貸出金業種内訳・有価証券の状況 12
- 多摩にひろがるネットワーク 13

多摩地域の活性化・お客さまの声を活かすしくみ

たましんはお客さまと〈ふるさと多摩〉の未来を創っていきます。

◆多摩地域で生まれた金融機関だからこそ、できることがあります

地域の皆さまとともに私たちのふるさと多摩を未来にわたって成長・繁栄させていくために、金融サービスはもちろん経済・文化・生活等あらゆる角度から、多摩で活動される企業・事業者、多摩で生活し働く個人の皆さま、多摩の地域社会を、総合的・積極的にサポートしています。



※1たましん各店の預金保有者数の合計(平成26年9月末現在)。
 ※2東京都総務局「東京都の人口(推計)」(平成26年9月1日現在)。
 ※3総務省統計局「平成24年経済センサス活動調査(確報)」(平成24年2月1日現在)。
 注. 会員数・事業所融資先数は平成26年9月末現在。

地域金融機関としての役割

企業・事業者への支援

個人の皆さまへのお手伝い

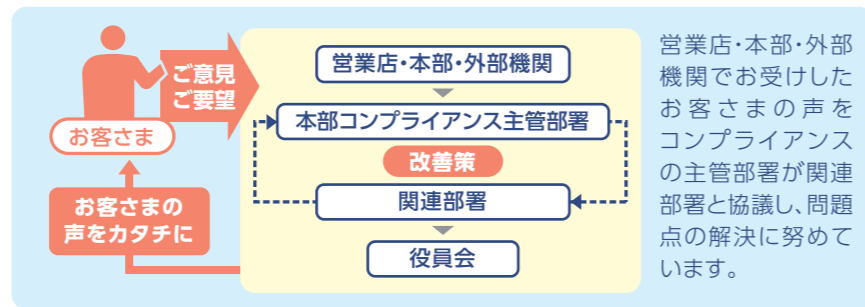
地域社会への取り組み

業績ハイライト

◆お客さまの声を糧に、よりよいサービスをめざして

お客さまの声を活かすしくみ

たましんにとって、店舗の窓口やお客さま担当者が日々接するお客さまの声こそが活動指針です。お客さまによりご満足いただける金融機関をめざして、たましんではこうしたお客さまの声を業務やサービスの充実に役立てています。



さまざまな方法でお客さまの声をいただいています

直接声をお寄せいただく以外にも、ホームページにてご意見やご要望を承っているほか、営業店の店頭にもアンケート用紙をご用意し、アンケートボックスまたは郵送にて受け付けています。



創業補助金



創業補助金採択者向け事務手続説明会

創業を支援する経済産業省の「創業補助金」の申請支援に引き続き積極的に取り組みました。たましんが認定支援機関として採択された平成25年度補正予算創業補助金最終審査分の件数は60件となりました。また、8月23日に、創業補助金採択事業者を対象に、採択後の各種事務手続きについて説明会を開催し、継続した支援を実施しています。

*独立行政法人中小企業基盤整備機構「創業補助金採択結果」より集計

新ものづくり補助金

中小企業のものづくりなどを支援する「新ものづくり補助金」の申請支援では、補助金説明会の実施などにより、平成25年度補正予算1次・2次公募を通じて171件と、全国の信用金庫で最も多い採択件数となりました。

*中小企業庁「平成25年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」採択結果より集計



新ものづくり補助金説明会

多摩の物産&輸入品商談会'14

「多摩の物産&輸入品商談会'14」のWebサイトをオープンしました。7月1日、2日には、Winセンターおよびパレスホテル立川にて、大手バイヤー22社と出展者70社との個別商談会を開催し、148件の商談が行われました。多摩地域の魅力ある様々な物産や輸入品の販路拡大などを支援しています。



個別商談会風景

日本貿易保険との業務提携

9月29日、独立行政法人日本貿易保険(略称:NEXI。日本政府100%出資)と「貿易保険業務委託契約」を締結しました。NEXIと連携した貿易保険の活用により、お客さまの海外取引の可能性を広げ、海外市場への展開を支援しています。

地域金融機関としての役割

企業・事業者への支援

個人の皆さまへのお手伝い

地域社会への取り組み

業績ハイライト

夏休み親子自然体験ひの・は・ら'14



魚のつかみ取り

ツリークライミング

8月5日、6日、子どもたちの自然体験学習と保護者同士のコミュニケーションの機会を提供するため、日本女子体育大学と連携し、「夏休み親子自然体験'14ひの・は・ら」を開催しました。ツリークライミングやドッチビー、魚のつかみ取り、木工体験などのプログラムを通じて、520名の方にお楽しみいただきました。

むさしの創業サポートネット

9月26日、武蔵野市と創業支援事業に関する連携協定を締結しました。たましんのほか5機関が連携しています。武蔵野市の創業支援窓口「むさしの創業サポートネット」を通じて、市内の創業支援の取り組みを推進していきます。



締結式

経済産業省施策雑談会

9月22日、多摩地域の市町村を対象に、国との率直な情報交換・意見交換の場として、経済産業省施策に関するざっくばらんな雑談会を開催し、14市から24名の産業振興所管部局職員にご参加いただきました。



経済産業省施策雑談会

明星大学 夏休み科学体験教室

明星大学「夏休み科学体験教室」に協力し、出展企業・団体の紹介を行いました。当日は約2,200名の来場がありました。



夏休み科学体験教室

青少年のための科学の祭典 東京大会in小金井

「青少年のための科学の祭典 東京大会in小金井」に参画し、出展企業・団体を紹介するとともに、小金井支店・小金井南口支店が共同出展し、お金に関するブースを出展しました。当日は約7,500名の来場がありました。



青少年のための科学の祭典

見て、聞いて、知って得する 入園・入学夏フェスタ

7月18日から21日の4日間、Winセンターで、「見て、聞いて、知って得する 入園・入学夏フェスタ」を開催しました。お子さまが入園・入学を控えている世帯に向けて、立川市内の幼稚園の紹介や園児による作品展、子育て世代に向けたセミナー、現役私立小学校校長による就学相談会などを行い、362名の方にご来場いただきました。



幼稚園紹介

作品展

親子で学ぶ「お金」の勉強室

7月29日、サンケイリビング社と共同で「親子で学ぶ『お金』の勉強室」をWinセンターにて開催しました。クイズやゲームを通じ、お金について学び、また、模擬紙幣を数えるなど「お金」に興味を持つきっかけづくりを行いました。



親子で学ぶ「お金」の勉強室

永山支店 すまいるカウンターオープン

9月24日、お客さまのライフスタイルに合わせ、くらしやお金のことをじっくりご相談いただけるコンサルティングスペース「すまいるカウンター」がオープンしました。



永山支店 すまいるカウンター

「お客さまの大切な預金」をお守りするために

たましんでは、息子や孫を名乗って現金を詐取する「オレオレ詐欺」や公的機関の職員を装って振込させる「還付金詐欺」などの被害に遭われないよう、ロビー担当者が店頭で「振り込め詐欺にご注意ください!」というタスキをかけて、来店されるお客さまへ呼びかけをしております。また、受付窓口でも積極的に注意喚起を呼びかけ、地元警察とも連携して、犯罪抑止に向けて取り組んでいます。



ATM前にて注意呼びかけ

預金・年金振込・預かり資産

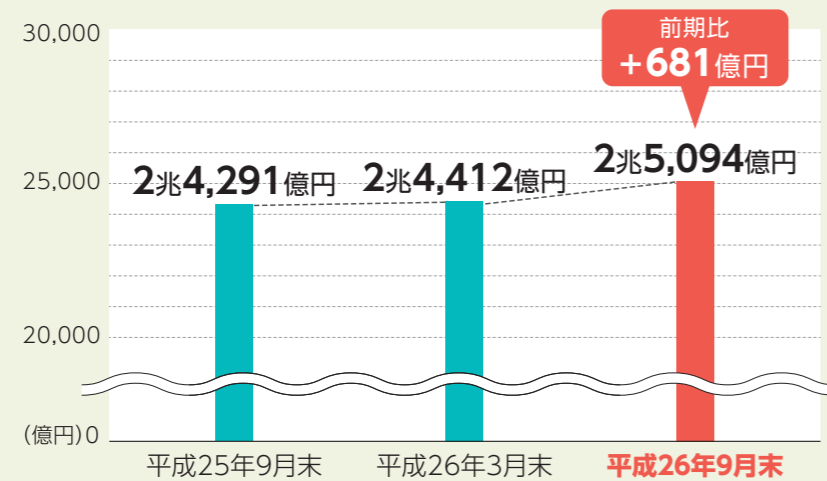
預金・年金振込は増加しました。

◆預金積金残高は681億円増加しました。

預金積金残高は、地域の皆さまからのご支持をいただいたことにより、前期より681億円増加し2兆5,094億円となりました。

今後も地域の皆さまの生活になくてはならない地域金融機関として、安心してお取引引きいただけるサポート体制を築いてまいります。

●預金積金残高の推移

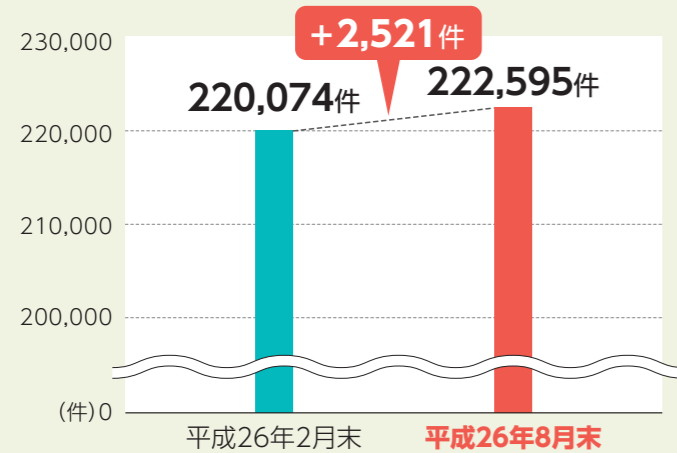


◆年金振込件数は、2,521件増加しました。

年金振込件数は、2月対比で2,521件増加しました。

お客さまから、変わらぬご信頼・ご支持をいただいています。

●年金振込件数の比較

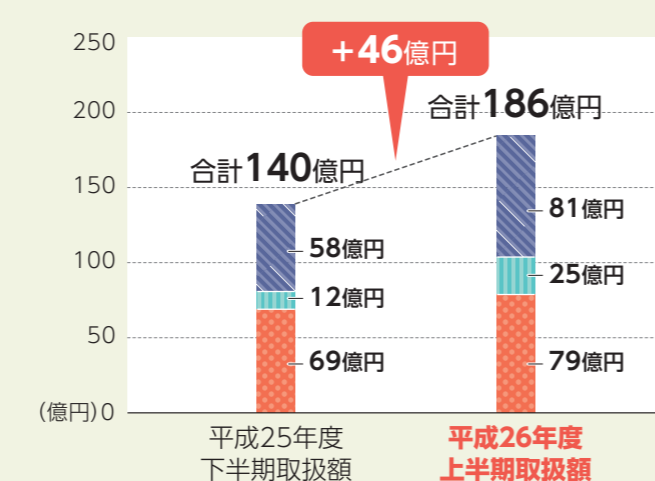


※基金を除く振込実績。

◆預かり資産取扱額は、46億円増加しました。

預かり資産のお取扱い額は増加しました。ご提案にあたっては、金融商品取引法等の法令等を遵守し、お客さまの状況にあわせて適切な説明を心がけています。

●預かり資産取扱額の比較



※外貨建て商品は、払込日のTTMLレートで円貨換算して算出しています。

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

事業所融資先数・貸出金・金融円滑化

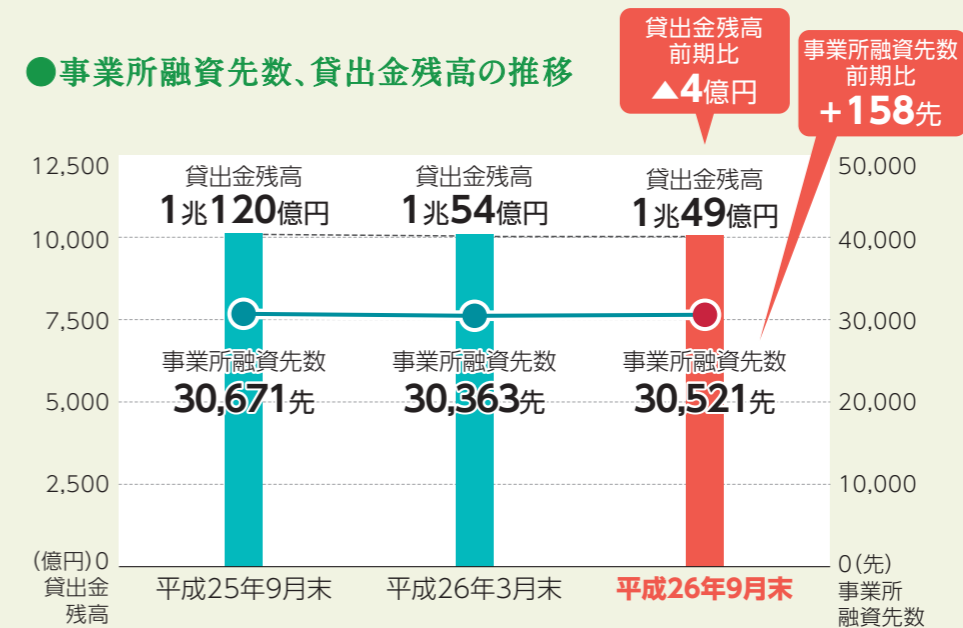
事業所融資先数は増加、貸出金は横ばいでした。

◆事業所融資先数は158先増加し、貸出金残高は4億円の減少となりました。

事業所融資先数は158先増加し、30,521先となりました。貸出金残高は事業所融資先数が伸びたこと等から減少幅に歯止めがかかり、1兆49億円となりました。内訳としては、事業性のご融資は59億円増加し、個人のお客さまのご融資は64億円の減少となっています。

今後も、お客さまの悩みや課題により多く応えられるよう、さらに行動力を増して取り組んでまいります。

●事業所融資先数、貸出金残高の推移



※個人のお客さまへのご融資には、個人事業所向け住宅資金・消費者資金等が含まれます。
 ※先数には、総合口座貸越のみのお客さまは含まれておりません。
 ※たましんレポート2013までの算出方法とは異なります。

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

《金融円滑化の対応について》

たましんは経営理念の具現化として、地域のお客さまの悩みや課題を共有し、お客さまとともに課題解決に取り組み、金融の円滑化を図っています。

企業・事業者のお客さまには、経営相談・事業支援および事業再生に取り組み、個人のお客さまにはライフサイクル、ライフプランに応じた総合的サポートを提供しています。

これからも、お客さまの課題解決に取り組み、地域の発展に寄与するため、一層の金融の円滑化に向けて取り組んでまいります。

※「金融円滑化のための基本方針」・「金融の円滑化を図るための方針の概要」・「貸付条件の変更等の状況」等については、たましんホームページに掲載しています。

損益の状況

業務純益は32億円、経常利益は34億円、当期純利益は22億円となりました。

◆収益をさらなる地域貢献へ

貸出金残高の減少や利回の低下により、貸出金利息が減少したことを主な要因とし、業務粗利益は前年同期比3億円減少の176億円、業務純益は前年同期比3億円減少の32億円となり、金庫本来の事業活動からの利益であるコア業務純益は前年同期比1億円減少の26億円となりました。

また、臨時損益は前年同期比ほぼ横ばいで、その結果、経常利益は前年同期比2億円減少の34億円、当期純利益は前年同期比3億円減少の22億円となり、引き続き安定した収益を確保しています。

●損益の状況

(単位:百万円)

科目	平成25年9月期	平成26年9月期
業務粗利益	18,002	17,610
うち資金利息	16,779	16,395
うち役員取引等利益	1,010	1,011
うちその他業務利益	212	203
一般貸倒引当金繰入額	△ 599	△ 388
経費	15,020	14,798
業務純益	3,581	3,200
コア業務純益	2,805	2,656
臨時損益	195	301
うち個別貸倒引当金繰入額	829	798
経常利益	3,775	3,499
当期純利益	2,552	2,202

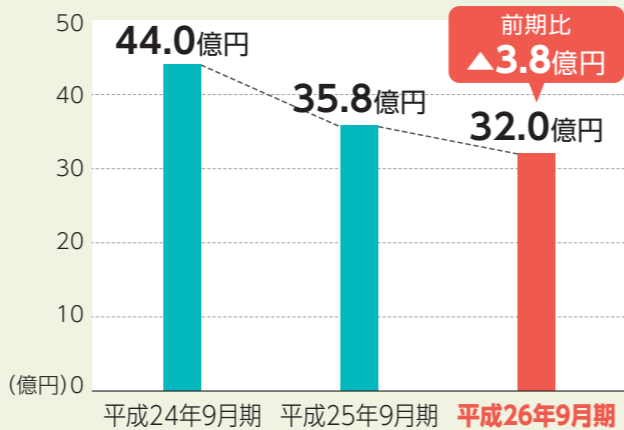
○業務純益とは

金融機関固有の利益指標で、基本的な業務の成果を示します。業務粗利益から業務遂行に必要とされる費用である経費(除く臨時的経費)および一般貸倒引当金繰入額を除いたもので、金融機関の基本的な業務に係る利益を示しています。

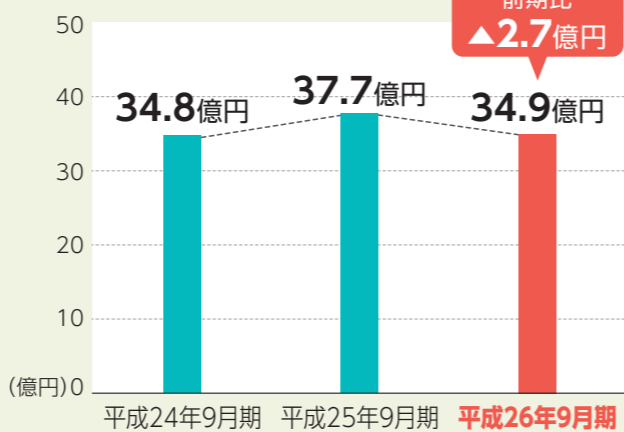
○コア業務純益とは

業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券損益で算出され、金庫本来の事業活動での利益を把握するものです。

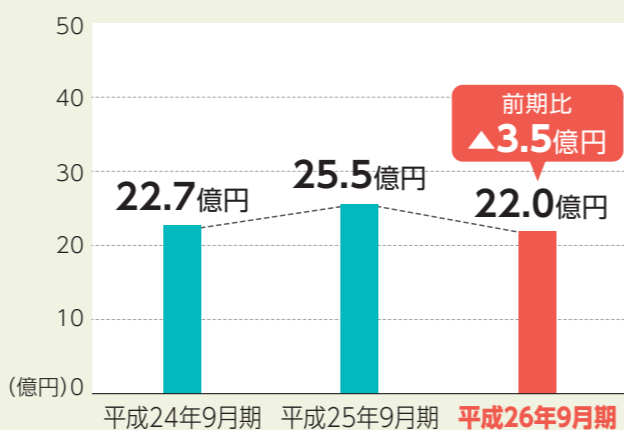
●業務純益の推移



●経常利益の推移



●当期純利益の推移



※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

自己資本比率

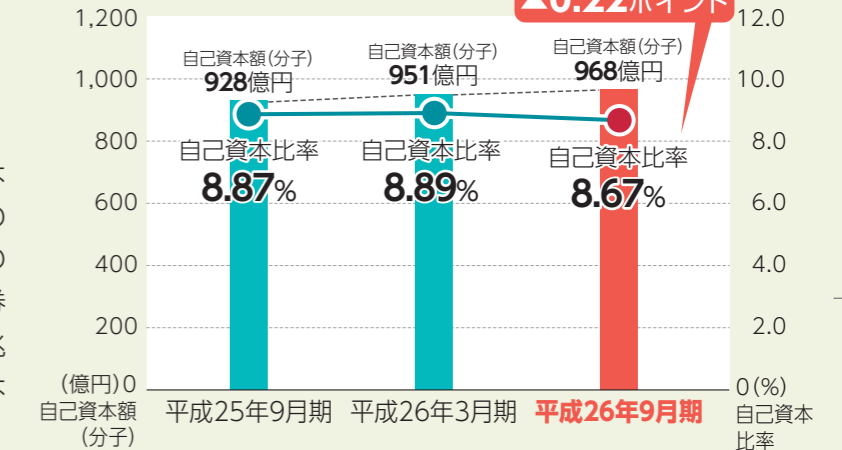
自己資本比率は、8.67%となりました。

◆経営の健全性は確保されています。

自己資本比率における、「自己資本の額」(分子)は当期純利益の内部留保等により前期比16億円増加の968億円となりました。一方、「リスク・アセット等の額の合計額」(分母)は事業性の貸出金、事業債等の有価証券が増加したことなどにより前期比462億円増加の1兆1,164億円となりました。その結果、自己資本比率は前期比0.22ポイント低下の8.67%となりました。

たましんの自己資本比率に対する考え方は高さだけを求めるのではなく、地域で果たす役割を第一に考えており、お客さまへ貢献した結果として得られる適正な利益の内部留保を着実に蓄積していくことで、経営の健全性向上を目指しています。

●自己資本比率の推移



※自己資本比率の算出方法については、自己資本比率規制の改正に伴い平成26年3月期より一部変更されています。

自己資本の額(コア資本に係る基礎項目の額-コア資本に係る調整項目の額)
信用リスク・アセットの額の合計額+オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額

●自己資本比率の内訳

(単位:百万円)

項目	平成26年3月期	経過措置による不算入額	平成26年9月期	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	95,180		96,864	
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	90,870		93,034	
うち、出資金及び資本剰余金の額	24,211		24,159	
うち、利益剰余金の額	67,564		68,874	
うち、外部流出予定額(△)	904		-	
うち、上記以外に該当するものの額	△ 1		-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,960		1,572	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1,960		1,572	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	2,349		2,258	
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	-		-	
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く)の額の合計額	-	1,432	-	1,283
前払年金費用の額	-	20	-	159
自己資本の額((イ)-(ロ))	95,180		96,864	

●信用リスク・アセット等および所要自己資本の額

(単位:百万円)

項目	平成26年3月期		平成26年9月期		所要自己資本の額
	資産の額等	リスク・アセット等	資産の額等	リスク・アセット等	
信用リスク・アセットの額の合計 (イ)	2,788,758	1,001,839	3,011,164	1,048,075	41,923
資産(オン・バランス項目)	2,637,770	978,879	2,631,536	1,019,354	40,774
現金	24,888	-	27,483	-	-
政府・中央銀行向け等	655,172	22,097	599,353	22,873	914
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	808,132	167,869	828,246	184,621	7,384
法人等向け	354,776	267,294	382,749	288,098	11,523
中小企業等向け及び個人向け	320,564	224,106	324,382	227,459	9,098
抵当権付住宅ローン	78,006	26,570	78,164	26,663	1,066
その他	396,228	270,942	391,156	269,638	10,785
オフ・バランス取引等項目	150,363	22,764	377,633	27,996	1,119
CVAリスク相当額を8%で除して得た額	-	194	-	718	28
中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額	624	0	1,994	5	0
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額 (ロ)	-	68,414	-	68,414	2,736
リスク・アセット等の額の合計額((イ)+(ロ))	2,788,758	1,070,254	3,011,164	1,116,490	44,659

※所要自己資本の額=リスク・アセット等×4%

	平成26年3月期	平成26年9月期
自己資本比率	8.89%	8.67%

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

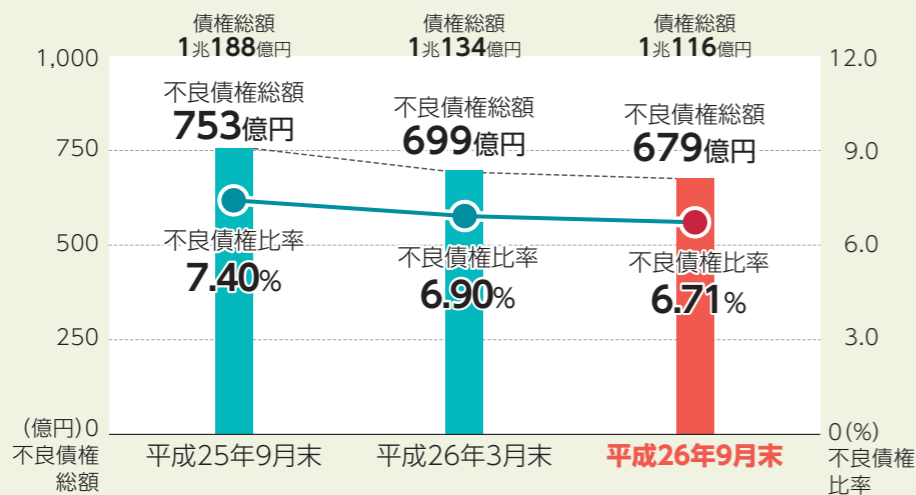
不良債権

不良債権比率は6.71%です。

◆金融再生法開示債権のうち正常債権を除く開示額は、679億円となりました。

前向きに事業に取り組むお客さまの悩みや課題を共有し、解決することが、たましんの目指す不良債権への取り組みです。その取り組みの効果が表れ、お客さまの業況も徐々に改善方向にあります。その結果、金融再生法開示債権のうち正常債権を除く開示額は平成26年3月期より減少し679億円となり、不良債権比率は0.19ポイント低下し6.71%になりました。今後もお客さまのさらなる課題解決・業況改善のため、金融面・非金融面と幅広い支援を積極的に行ってまいります。

●不良債権の推移 (金融再生法における開示債権)

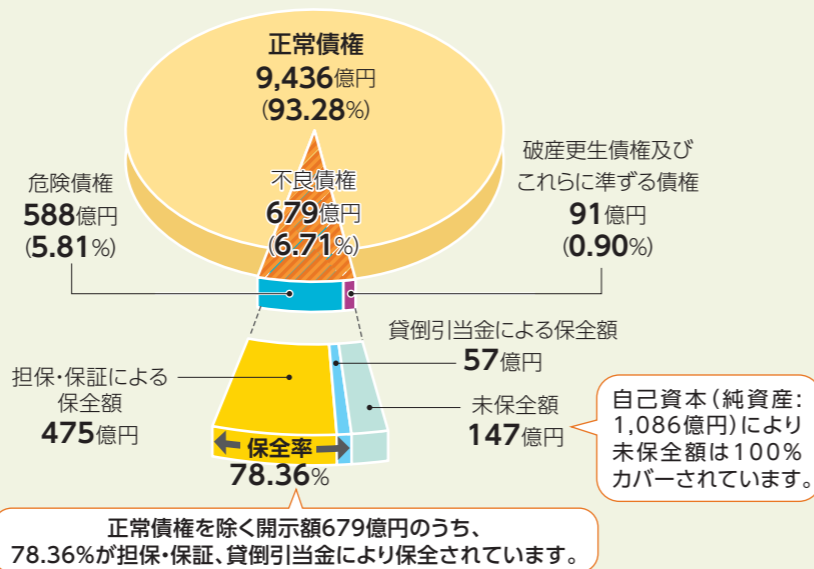


◆不良債権は、しっかりと保全されています。

正常債権を除く開示額679億円のうち、78.36%が担保・保証、貸倒引当金により保全されています。残りの21.63%にあたる147億円は、自己資本(純資産1,086億円)により、100%カバーされています。

- ※1 金融再生法開示債権は、貸出金のほか、外国為替、債務保証見返、仮払金、未収利息、当金庫が保証する私募債を対象としています。
- ※2 債権残高は、倒産・延滞や決算期の到来等の事象の発生に都度、実施された自己査定結果に基づいています。
- ※3 自己査定で無価値または回収不能と判断された債権については部分直接償却予定額として、平成26年9月期の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」から9億円を控除しています。
- ※4 要管理債権はありません。

●金融再生法開示債権の区分別割合と、同債権に対する保全状況



貸出金業種内訳・有価証券の状況

ご融資や資金運用のリスク管理について。

◆たましんのご融資は、幅広く、小口多数。

たましんは、特定の業種や大口取引に偏らず、多くのお客さまに幅広くご融資するという「小口多数者利用」を原則としています。これは、多くのお客さまの課題を共有し、共に解決していくことで地域で事業を営む方や地域で生活している方を支援するという、たましんの基本方針に基づいています。

●貸出金業種内訳

(単位:百万円)

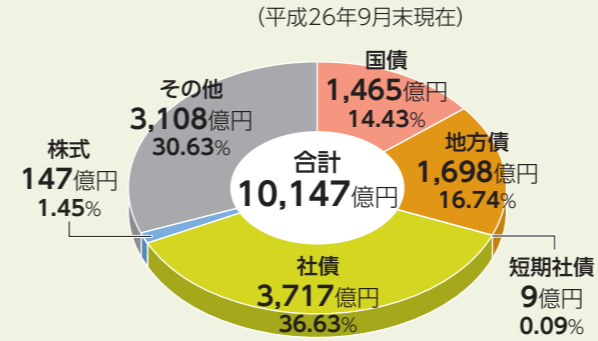
業種区分	平成25年9月末残高		平成26年9月末残高		業種区分	平成25年9月末残高		平成26年9月末残高	
	残高	構成比(%)	残高	構成比(%)		残高	構成比(%)	残高	構成比(%)
製造業	98,361	9.7	98,444	9.7	物品賃貸業	2,298	0.2	2,080	0.2
農業、林業	555	0.0	587	0.0	学術研究、専門・技術サービス業	11,528	1.1	10,264	1.0
漁業	1	0.0	0	0.0	宿泊業	1,120	0.1	950	0.0
鉱業、採石業、砂利採取業	118	0.0	154	0.0	飲食業	20,155	1.9	20,368	2.0
建設業	98,554	9.7	97,264	9.6	生活関連サービス業、娯楽業	12,328	1.2	12,613	1.2
電気・ガス・熱供給・水道業	326	0.0	713	0.0	教育、学習支援業	5,867	0.5	6,161	0.6
情報通信業	5,673	0.5	5,770	0.5	医療・福祉	35,698	3.5	36,069	3.5
運輸業、郵便業	14,529	1.4	14,673	1.4	その他のサービス	59,074	5.8	63,075	6.2
卸売業、小売業	90,840	8.9	91,360	9.0	地方公共団体	26,515	2.6	23,315	2.3
金融業、保険業	6,874	0.6	7,608	0.7	個人*	240,497	23.7	232,425	23.1
不動産業	281,155	27.7	281,069	27.9	合計	1,012,076	100.0	1,004,972	100.0
不動産売買業	28,142	2.7	29,757	2.9					
不動産賃貸・管理業	239,634	23.6	240,373	23.9					
不動産流動化等を目的とするSPC	-	-	-	-					
不動産関連地方公社等	13,378	1.3	10,938	1.0					

*住宅資金・消費資金等の貸出金は、個人に集計しています。

◆資金運用については、各種リスク管理を行ったうえで国内の債券を中心に安定した運用を心がけています。

国内の債券を中心に株式や外国証券等に分散投資したポートフォリオを構築しています。引き続き国内金利が低水準で推移したことや、円安・株高が進行したことにより、保有有価証券の評価益は219億円になりました。

●有価証券の種類別残高内訳



●有価証券の評価差額

(単位:億円)

		平成25年9月末	平成26年9月末		増減
		評価差額	取得原価等	時価等	
有価証券	株式	44	147	208	61
	債券	89	6,891	7,002	111
	その他	32	3,108	3,155	46
合計		166	10,147	10,366	219

- ※1 有価証券の種類別残高は期末日における取得原価等であり、貸借対照表計上額と異なります。
- ※2 有価証券の評価差額は、期末日における取得原価等と時価等の差額です。
- ※3 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
- ※4 変動利付国債の時価については、平成25年9月末は合理的に算定された価額でしたが、平成26年3月末より市場価格の評価に変更しました。平成26年9月末の有価証券の評価差額は合理的に算定された価額をもって評価した場合に比べ、0.6億円減少しています。

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

たましんレポート
2014年9月期
【仮決算のご報告】
多摩信用金庫

〒190-8681
東京都立川市曙町2丁目8番28号
TEL:(042)526-1111(大代表)
<http://www.tamashin.jp>

お問い合わせ

お客さま照会センター

■ 本誌に関する お問い合わせ、ご意見は ☎ 0120-187-329	■ 出資、会員に関する お問い合わせは ☎ 0120-077-441
---	--

たましんホームページでも本誌やたましんに関するご意見、
お問い合わせを承っております。

※RISURUはたましんのイメージキャラクターです。

©2003, 2014 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G552661



お客さまの幸せづくり
たましん

発行:平成26年11月